

SOTO 製 MUKA ガソリンストーブ取付及び使用方法

ポリ hot は熱交換本体の販売に特化し、火力は他社製薪ストーブ・ガスストーブ等で対応して貰っています。

各火器類は長所・短所があり、薪ストーブは長時間使用と高火力がメリットの反面、

薪など物理的おおきさの問題やセットアップ、市街地使用が難点です。

ガス火器等使用メリットはコンパクト且つ、コンビニやスーパーなど気軽に燃料調達が可能で、燃焼時悪臭等も最小限です。

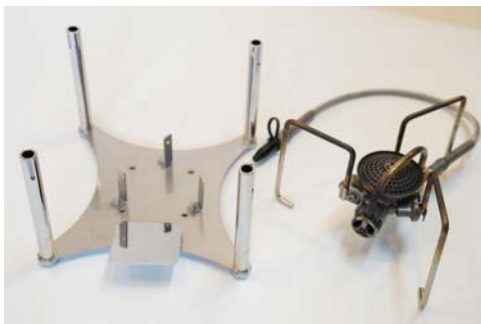
デメリットは低温に弱いのですが、ポリ hot は特殊な使用方法でイソブタン缶ではマイナス 10 度以下でも実用上使用可能です。

ガソリン方式ストーブのメリットは実用上気温マイナス 30 度以下でも使用可能です。

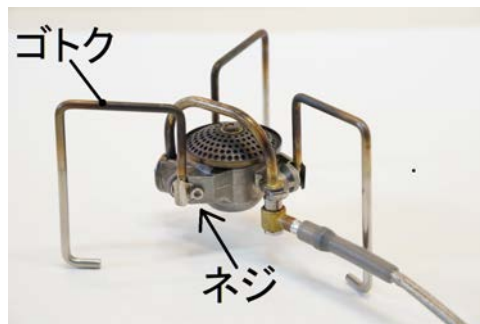
ポリ hot 製品特性上、厳冬期災害でも快適に温水が可能なることを目指している為、極限環境での使用も想定しています。

Muka ストーブは製品設計緻密さ・寸法精度の高さ・質感が価格以上のクオリティを要していることから選択させて頂きました。

同じ物作りの立場から、開発陣営に敬意を表します。



①写真の様にポリ hot 付属のバーナースタンドに Muka ストーブを取り付けます。



②ゴトクを取り外す為に 取り付けネジを確認いたします。



③写真の様に付属の六角レンチでゴトク取り付けネジを外していきます。



④3本のゴトクを分解した写真です。



⑤ Muka で使用されていたネジは再利用し、写真の部品6点は大切に保管しておきます。



⑥ビニールが付属していますのでそれに収納することも可能です。



⑦外したバーナー本体をポリ hot 専用スタンドに仮載せします。Muka 吸気孔を写真の様に必ずスタンド正面右側に来るように SET してください。この時点ではネジ孔はズれています。

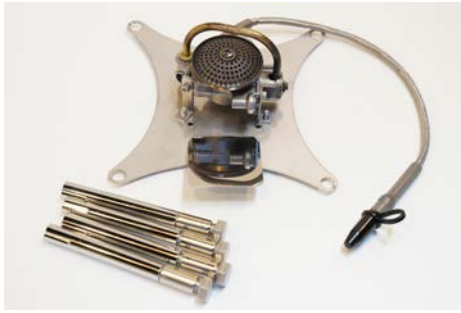


⑧ Muka 標準ネジを使用し、ポリ hot バーナースタンドステート Muka 取り付けネジ孔を合わせて付属の六角レンチで締めて行きます。



⑨バーナー取り付け完成です。尚、ポリ hot 本体に取り付ける場合、付属の支柱を外してからポリ hot 本体に取り付けてください。

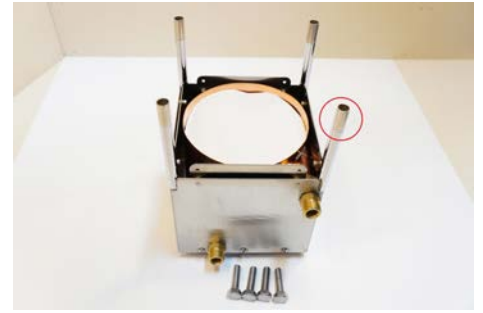
ポリ hot 本体にバーナースタンドを取り付ける方法



①バーナースタンド取り付け時はバーナーベースから4本の支柱を一旦取り外します。



②4本の支柱をポリ hot 本体の四隅に差し込みます。

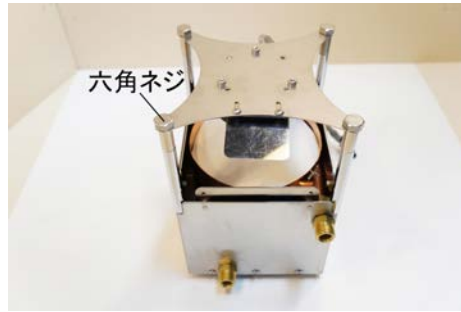


③高さ調節用スペーサーを4本の支柱の上に置きます。このスペーサーは環境で不必要になる場合があります。



④写真のようにステンレスミラーが正面を向くようにバーナーベースプレートを置きます。

※設置環境により取り付け向きは変化致します。



⑤バーナーベースプレートを付属のステンレス六角ネジ4本で固定します。

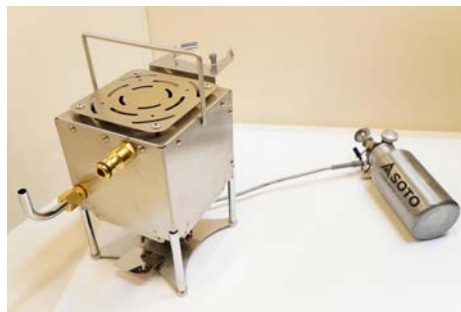


⑥完成!!

使用方法と注意点



①洗い場など移動時、燃料タンクスタンドに載せて持ち運びます。



②バーナー使用時はタンクを写真のように寝かせてガスメーカー推奨に準じた方法でご使用ください。



必ずお読みください

※ポリ hot 本体は特殊な組み込み部分もありますので

むやみに分解しないでください。

※バーナー製品はメーカー指定方法でご使用ください。

※分解等でメーカー保証が効かなくなる場合もあり自己判断をお願いいたします。

※このセット方法で万が一バーナーが故障してもバーナーメーカーや

弊社が保証するものではありません。

※高さ調節スペーサーを外し使用する場合は別途ネジをご用意ください。

※ポリ hot 本体のそれ以外の使用方法はポリ hot, Ver2.75 取り扱い説明書をお読みください。



高さ調節スペーサー

熱交換部との距離により火力変化が生じ実験結果から+20mmを最適としスペーサーを追加致しました。但し、常に強風化で使用する場合スペーサーを外して設置し直してください。

※六角ネジは別途購入